

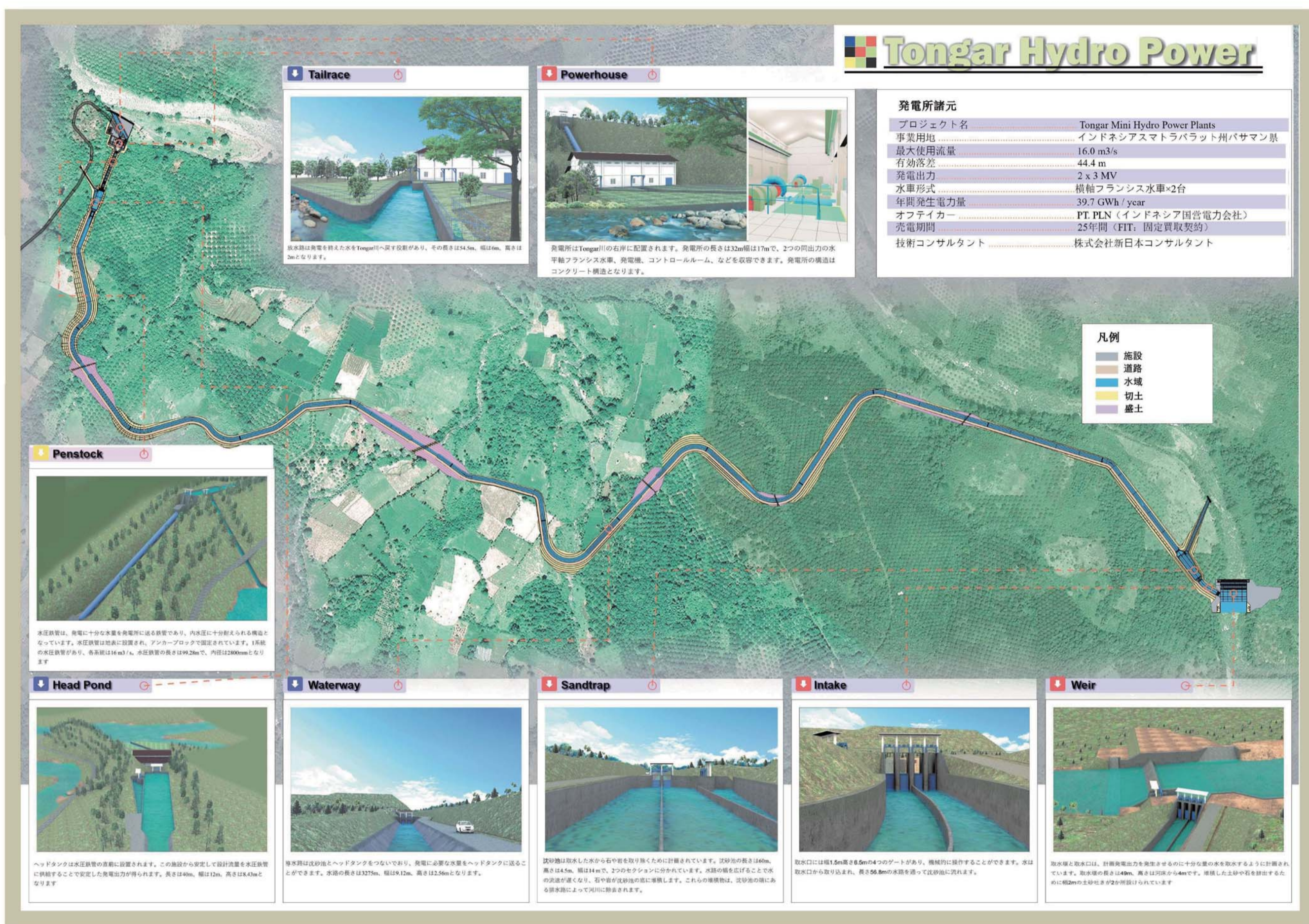


海外再生可能エネルギー

インドネシア トンガル水力発電所の開発（建設中）

—二国間クレジット（JCM）創出による富山のカーボンニュートラルを促進—

JCM設備補助事業採択案件 西スマトラ州西パサマン県6MW水力発電開発



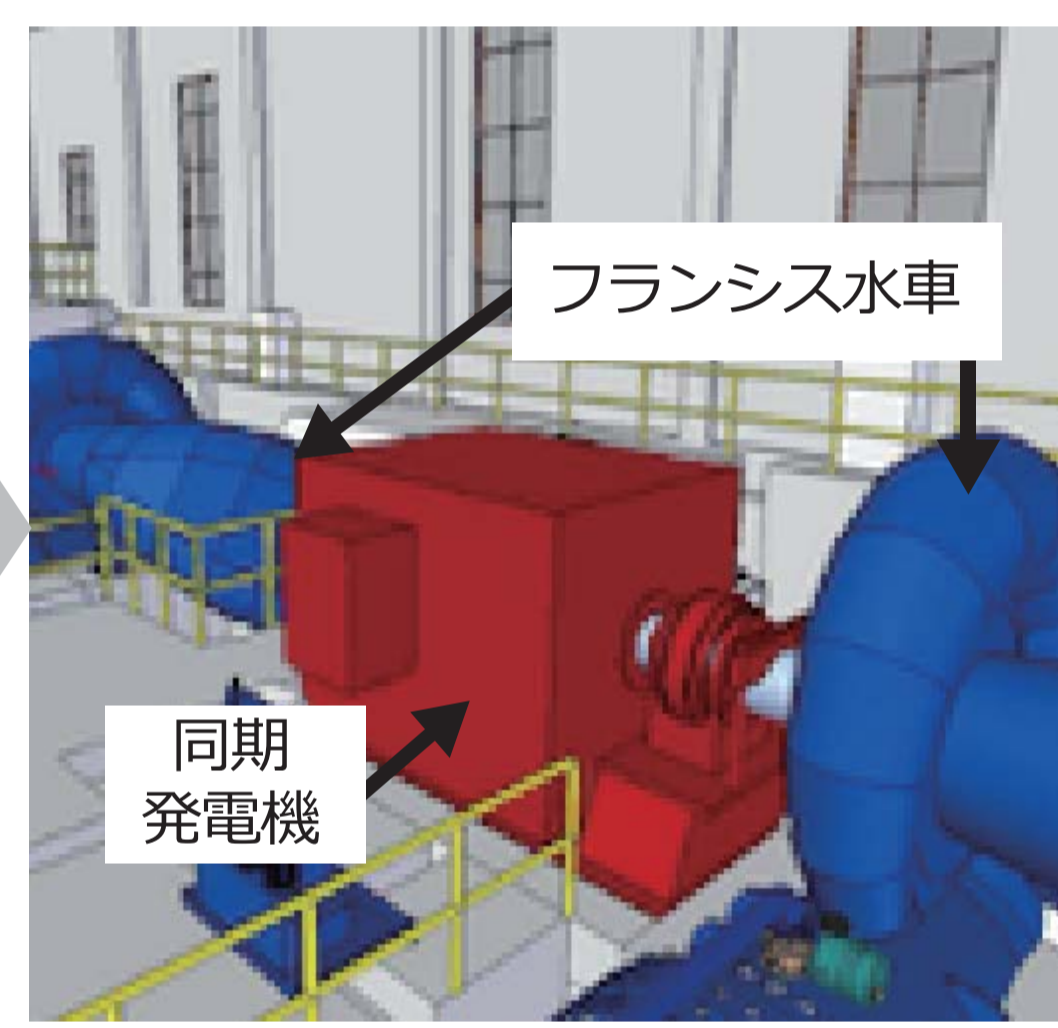
現況	建設中
事業場所	インドネシア 西スマトラ州 西パサマン県
発電能力	6,200kW
年間発電量	39.73GWh (インドネシア一般家庭 46,000軒分)
諸元	最大使用流量: 16.0m ³ /s 有効落差: 44.4 m
事業費	14億円
年間売電売上	2.5億円
設備	水車形式: 横軸フランス型水車×2基 水圧管路: φ2800mm×1

現況（建設中 2021年1月）

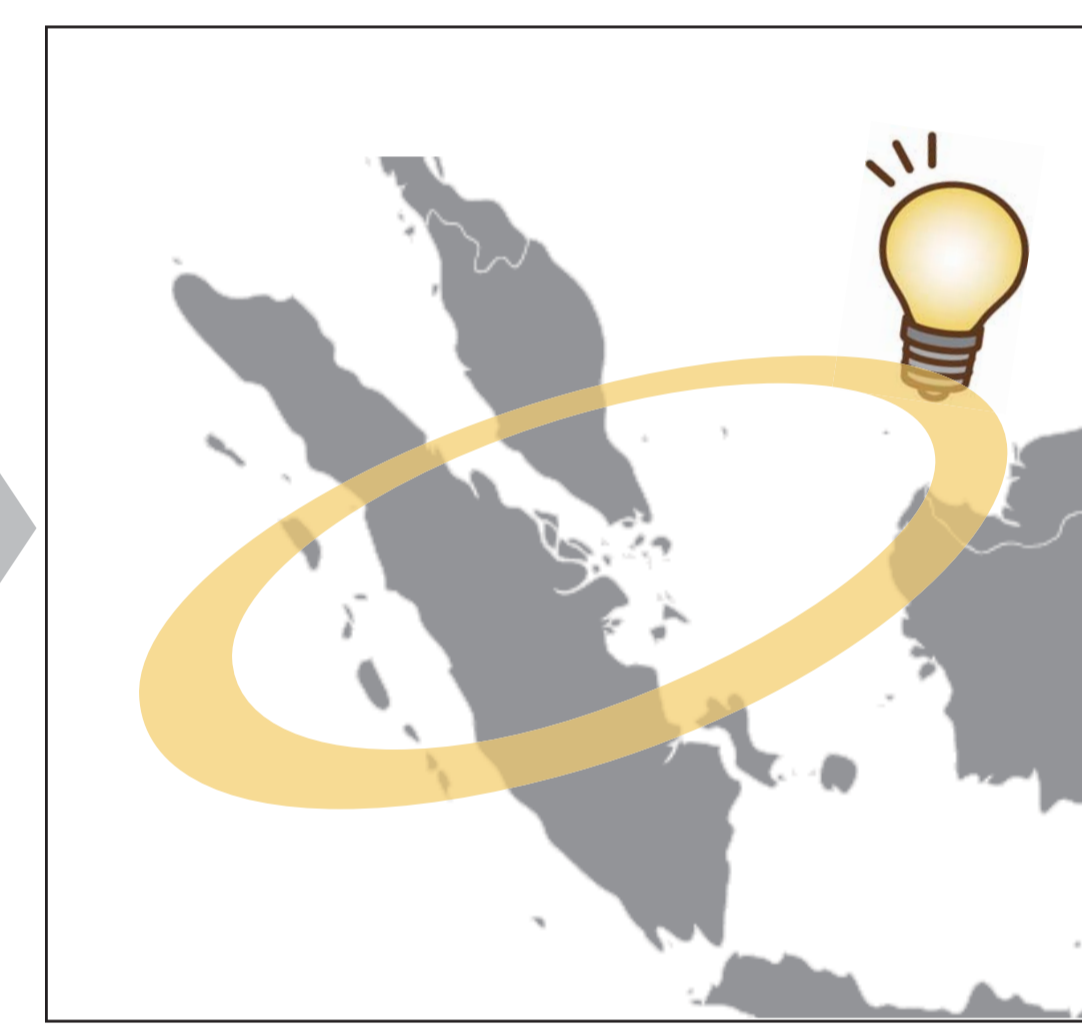
インドネシア 西スマトラ州西パサマン県・トンガル川にて、流れ込み式の小水力発電所(3MW×2基)を建設し、国有電力会社である PLN に売電します。これにより、グリッド電力を代替し、温室効果ガス(GHG)排出量を削減します。
インドネシア政府の電源計画では、小水力発電を含む再生可能エネルギー比率について、2025年までに23%、2050年までに31%を目指しており、本事業は再生可能エネルギーの導入・拡大に貢献するものとります。
本プロジェクトは、インドネシア政府と日本政府の協力の下で実施されます。



トンガル川



発電所(イメージ図)



スマトラ島グリッド

環境省 二国間クレジット制度 (JCM)

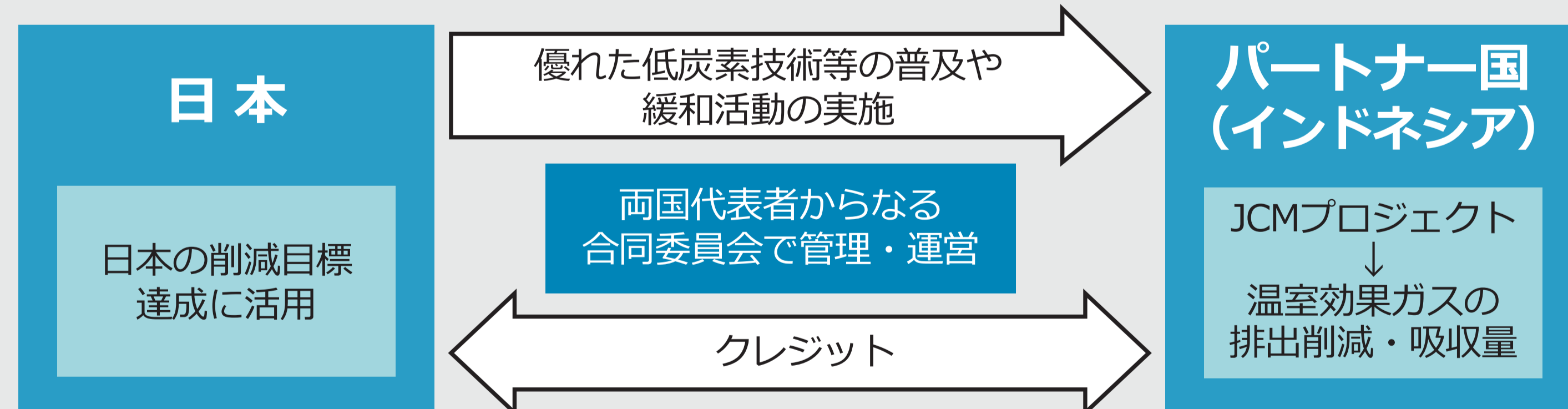
トンガル水力発電事業
二国間クレジット制度資金支援事業のうち
設備補助事業※に採択 (令和2年度)

- 案件名: 西スマトラ州西パサマン県6MW小水力発電プロジェクト
- 共同事業者: ニックスニューエネルギー株式会社
PT. Optima Tirta Energy
- 想定温室効果ガス (GHG) 削減量: 18,319 t CO₂/年

※優れた脱炭素技術等を活用し、途上国における温室効果ガス排出量を削減する事業を実施し、測定・報告・検証(MRV)を行う事業です。途上国における温室効果ガスの削減とともに、JCMを通じて我が国及びパートナー国の温室効果ガスの排出削減目標の達成に資することを目的としています。優れた低炭素技術等の初期投資費用の2分の1を上限として補助を行うものです。

二国間クレジット制度 (JCM : Joint Crediting Mechanism)

途上国への優れた低炭素技術・製品・システム・サービス・インフラ等の普及や対策実施を通じ、実現した温室効果ガス (GHG) 排出削減・吸収への日本国の貢献を定量的に評価し、日本国の削減目標の達成に活用する制度です。



本事業実施によって算出される温室効果ガス削減量は、JCM クレジットとして日本国と本事業におけるパートナー国であるインドネシア、そして事業者にも発行され、日本の温室効果ガス削減目標達成に活用されます。NiX グループは引き続き SDGs 推進を掲げ、ESG 事業に力を入れ、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを旨とする「カーボンニュートラル」への取組みに寄与していきます。

JCMプロジェクトにおけるSDGsの開発目標に対する貢献

